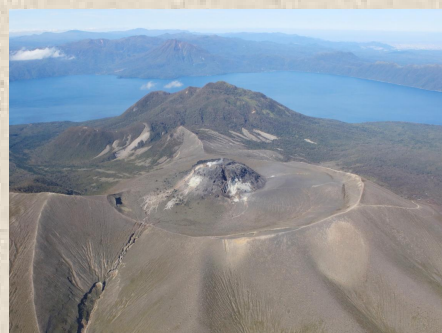


砂防の仕事ってどんなこと？

樽前山が噴火して泥流が発生すると、苫小牧市一帯に大きな被害を及ぼすことが予想されています。さらに、人々の生活や産業を支える鉄道、高速道路、国道、空港、港湾などにも被害が及び、北海道のみならず、全国の社会機能にも甚大な影響を与えるおそれがあります。

このため、北海道開発局は、平成6年度に樽前山で直轄火山砂防事業に着手しました。

事業目的は、泥流による被害の軽減であり、特に大量の泥流が流れ、大きな被害が想定される溪流において、砂防設備の整備を進めています。また、発災時に「出来る限り被害を軽減」するため、緊急対策（ハード対策）の検討や監視設備の整備（ソフト対策）等、火山噴火緊急減災対策にも取り組んでいます。



樽前山

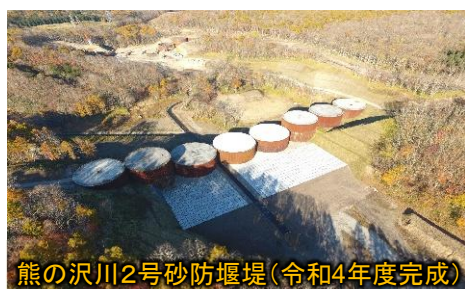


工事の予定

監視設備



樽前山火山対策防災拠点



熊の沢川2号砂防堰堤(令和4年度完成)



熊の沢川3号砂防堰堤(整備中)



出前講座(苫小牧市文化財発見ツアー)

【見学を希望される方へ】 室蘭開発建設部では「出前講座」を実施しておりますので、是非ご利用いただければ幸いです。

詳しくは、室蘭開発建設部HPをご覧ください。(右のQRコードより「室蘭開発建設部からの情報」⇒「出前講座」)

